

# 令和4年度 がんの全ゲノム解析に関する人材育成推進事業について

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

# R4年度 がんの全ゲノム解析に関する人材育成推進事業について

## 〈事業概要〉

- ▶ 本事業は、「全ゲノム解析等実行計画（第1版）」にて全ゲノム解析等に必要人材の一つとされている**医学的知識を有するバイオインフォマティクス等の育成を図り、全ゲノム解析等を推進することを目的**として、「ゲノム医療」、「バイオインフォマティクス」、「臨床医」等の多様な専門領域の委員による検討委員会を組成し、検討委員会での議論と方向付けを受けて、テキストの作成・編集、研修会の実施等を行っている。

## 〈R4年度事業のトピックス〉

- ▶ 入門編と応用編はオンライン強化の観点から、**オンデマンド動画配信を実施**。オンデマンド研修は参加者の自由な時間に実施でき、何度も視聴可能であることから非常に**満足度が高く、大人数の参加者に研修を提供することができた**。また応用編は、解析自体は行わないがプロセスを理解したい方向けの「体験コース」と、実習を行う「解析集中コース」に分化した。
- ▶ 入門編・応用編などで学んだ知識を臨床現場で活用できる**実践編を新設**し、実施した。

## 〈R4年度事業の実績〉

	研修内容	主な参加者	開催方法	受講者数 (修了者数)	備考
<b>入門編</b> (がんゲノム医療全般)	幅広い基礎を網羅的に学ぶ	医師、臨床検査技師	オンデマンド：9/12~12/31 会場開催1回：9/19(東京)	オンデマンド：1,295(479) 会場：10(-) ※会場は台風14号直撃のため少人数 ※R3年度 851 (662)	▶ 入門編・応用編のオンデマンド研修にて、それぞれ確認テスト 80% 以上正解（R3年度は70%以上正解）で修了証が発行される（再試験可）。修了者数の少なさは、参加者が限られた時間の中で希望する編・章のみを聴講したことによるものと予想され、修了率を高める工夫が必要。  ▶ 入門編・応用編・実践編において、オンデマンドの更なる活用が求められる。  ▶ 応用編は、コマンド実習のためのアカウント提供の充実が求められる。  ▶ 実践編は、引き続き症例検討パートの会場開催が求められる。
<b>応用編</b> (データ解析)	① <b>体験コース</b> ： 解析実務の基礎を体験する	医師、臨床検査技師	オンデマンド：9/20~12/31 会場開催1回：10/2(東京)	オンデマンド：1,295(226) 会場：21(-) ※R3年度 57 (42) なお、R3年度の応用編はコースが分かれていない。	
	② <b>解析集中コース</b> ： 解析実務に特化（コマンド実習あり）	医師、 <b>研究員、教員</b>	会場開催2回： 10/15(東京)、11/5(大阪)	34(-)	
<b>実践編</b> <b>※R4年度から新設</b>	データ解釈と意思決定の実務を学ぶ、ケーススタディを通じたグループ実習	医師、 <b>遺伝カウンセラー</b> 、臨床検査技師	会場開催2回： 11/20(東京)、12/11(大阪)	35(-)	